

## 江南市交通児童遊園の今後のあり方について（案）

### 1. 施設概要

#### ○建物

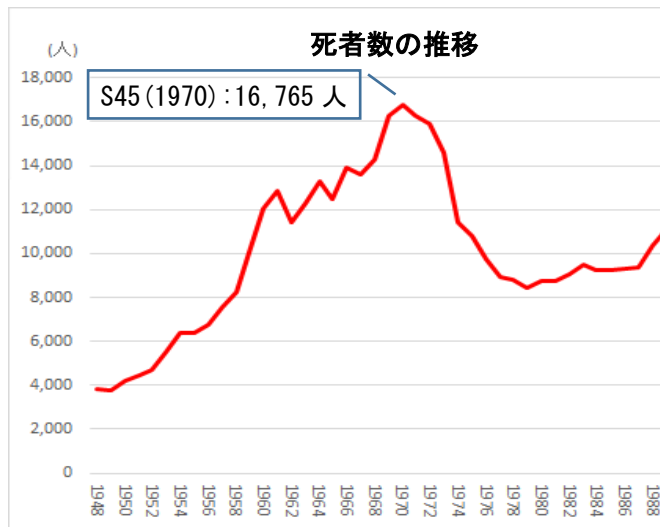
所在地	江南市木賀町大門 19 番地	延床面積	672.76 m <sup>2</sup>
建設年度	[1F]1972 年度（51 年／47 年） [2F]1980 年度（43 年／34 年）	構 造	[1F]鉄筋コンクリート造 [2F]鉄骨造

#### ○土地

施設名称	都市公園木賀公園（未供用）	都市公園木賀公園（供用）
地 積	8,926.44 m <sup>2</sup> （借地 8,925.23 m <sup>2</sup> ）	1,500 m <sup>2</sup>
所 在 地	江南市木賀町大門 19 番地	江南市木賀町大門 26 番地
用 途	交通児童遊園	コミュニティ・プール
所 有	愛知県	江南市

### 2. 設置の経緯

#### ①交通事故死亡者数の急増



- ・昭和 30 年代以降（1955 年～）の自動車交通の急成長に伴う交通事故死亡者数の急増
- ・交通事故死亡者数のうち 15 歳未満の子どもの割合は 24.1%（1972 年）  
→交通公園整備に係る国庫補助創設（建設省）と交通安全指導の学校教育への導入（文部省）の促進
- ※交通公園設置運営要領・・・敷地面積、園内施設・設備等のほか、指導員を配置すべきこと等を規定

#### ②交通安全対策に係る補助

- ・交通安全対策のため愛知県に寄贈された資金の一部を県費補助金として江南市に交付
- ・愛知県所有地を借地し、現在の交通児童遊園の所在地に交通児童遊園・管理施設を建設（S48 年度（1973 年度）供用）

### 3. 現状と課題

#### ①公共施設の統廃合

- ・建設から 50 年以上経過。施設の老朽化が著しい。
- ・古知野、藤ヶ丘、交通児童遊園の 3 児童館を統合し、老人福祉センター跡地に建設予定

#### ②敷地借上料

- ・11,346,734 円/年、既支出額約 4 億円

### ③交通事故死亡者数の減少

- ・令和4年度の死亡者数は2,610人と6年連続で最少を更新(65歳以上の高齢者が56.4%)。
- ・路上や公園などの戸外での遊び場の減少

## 4. 交通児童遊園の存廃について

交通公園としての設置に至る社会背景と現状における機能の必要性、老朽化に伴う管理施設の解体(児童館機能の廃止)により、公園、ゴーカート等の管理が困難となること等を勘案し、交通公園としての機能を廃止します。

## 5. 跡地の活用について

木賀公園は当地域の良好な居住環境を維持するうえで大切な公園、緑であり、交通公園(広場部分)は都市公園として都市計画決定されているため、都市公園として再整備をします。公園としての整備にあたっては、防災機能を備えた公園として用地取得(県有地)を検討します。